

令和7年度 第一回居住支援協議会 議事録（詳細）

日時	令和7年7月30日（水）13：30-15：00
場所	三鷹市教育センター 第二中研修室
出席委員	浅見 泰仁、石川 康雄、伊藤 幸寛、国府田 祥二、種田 聖、柳本 文貴、平野 大志、池田 啓起、小嶋 義晃、近藤 さやか（※所属・敬称略 各構成員別の氏名ふりがな 50音順）
欠席委員	岡田 敏弘
市側出席者	地域福祉課長 木村 祐介、障がい者支援課障がい者相談支援担当課長 香川 稚子、高齢者支援課長 鈴木 政徳、生活福祉課長 川口 真生、子育て支援課長 嶋末 和代、住宅政策課長 小林 弘平
会議の公開・非公開	公開
傍聴人数	1人
<p>《午後1時30分 開会》</p> <p>1 開会の挨拶</p> <p>2 ガイドブックについて</p> <p>住宅確保要配慮者の円滑な入居をはかるため、資料1～3のとおり三種類の広報・啓発資料ガイドブック及びリーフレットを作成する。このガイドブック案の作成は庁内各部署の担当者が集まる「居住支援部会」で作成している。第三案作成時には不動産団体も議論に参加している。</p> <p>(1) 不動産事業者向けリーフレット(資料1)</p> <p>居住支援に関する普及啓発を進め、貸主や住宅確保要配慮者の不安を軽減すること、これにより住宅確保要配慮者の円滑な入居を目指すことを目的とする。</p> <p>【意見交換】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅確保要配慮者は高齢者や障がい者だけではないが、羅列すると長くなってしまう。また、「住宅確保要配慮者」という単語は認知度が低い。「住まいを確保することに困っている方」「配慮を要する方」という言い方をしてはどうか。「住宅確保要配慮者とは」という解説を入れるのはどうか。 ・ 「高齢者や障がいのある方も訪問看護やヘルパーなどのサービスを入れたり、きちんと服薬したりすることで、安定して地域で暮らしている」というニュアンスの一言があると貸主も安心して部屋を貸せるのではないか。 <p>その他、構成や表記ブレについて意見が出たため修正を行う。</p> <p>(2) 居住支援関係機関向けガイドブック（資料2）</p> <p>相談者へ真に必要な支援を見極めミスマッチを防止すること、社会資源情報を支援者間で共有し不動産事業者や貸主との調整に資すること、支援者の基礎的知識・対応レベルの均質化を図ること、支援者間の連携体制を強化し横断的支援を行えるようにすることを目的とする。</p> <p>【意見交換】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎的知識として家賃債務保証の仕組みそのものを書くといいのではないか。 ・ 家賃相場は物件条件などもバラバラであり、現実感のある情報とはならない。家賃相場情報の掲載そのものも検討し、例示とするといいかもかもしれない。 <p>その他、構成や表記ブレについて意見が出たため修正を行う。</p> <p>(3) 住宅確保要配慮者向けリーフレット（資料3）</p> <p>支援につながっていない住宅確保要配慮者に、適切な情報提供を行うことを目的とする。</p>	

【意見交換】

- ・ リーフレットに「市役所その他で相談等をされている方は、予約の際にお伝えください」という表記があると「他の窓口で相談していることを知られたくない」という方もいて相談しにくくなるため書き方を検討した方が良い。
 - ・ 情報整理シートについては個人情報の扱いについて確認が必要である。
その他、情報整理シートへの必要項目や表記ブレなどについて意見が出たため修正を行う。
- ⇒これらの意見を取り入れて修正し、会長、副会長で決定を預かることとした。

3 住まいの相談窓口他概要説明

資料4、5のとおり。

相談窓口の名称について、「住まいの相談窓口」だけでは「住まい」に関連して想定される内容が広すぎる。「居住支援」という単語は一般的な認知度がまだ低い。そのため、「三鷹住まい探しサポート」がいいのではという意見が出た。

⇒会長、副会長で決定を預かることとした。

4 セミナーについて

資料6のとおり。

それぞれ対象者別に、次のような意見が出た。

- ①不動産関係者向けにセミナーを行い、居住支援への協力を呼びかけた方がよいという意見
 - ②庁内・福祉事業所向けに、不動産関係団体が講師としてセミナーを行い、不動産関係団体と支援者団体との交流、情報共有、連携強化につなげるとよいという意見
 - ③市民向けにセミナーを行い、困っている方へ「困った際はこのような制度や助成がある」と安心感を持ってもらい、アウトリーチとできればという意見
- 今年度は、講師選定、依頼、広報などを考えた際に開催時期が2、3月頃になるため、不動産業界の繁忙期と重なることを考え、市民向けで検討することとした。

5 6月10日に行われた全国説明会について（周知事項）

資料7のとおり。

6 今後のスケジュールについて

次回は令和8年1月頃を予定している。窓口、ガイドブックを運用し始めた後、その実績報告を行い、ブラッシュアップの意見をいただくイメージである。今回同様、事前に資料を送る予定である。

7 その他（周知事項）

資料8、9のとおり。

8 閉会の挨拶

次回会議：令和8年1月頃に開催を検討している。